

技術講習会 第15回「安全工学実験講座」

安全工学会では、安全工学の必要性を幅広い分野の方々にご理解を戴くために、本講座を企画いたしております。

プログラムは①安全工学関連物性 ②過去の事故事例を参考にしたモデル試験 ③座学による試験法と安全性評価の基礎知識習得 の3講座からなっております。

今回は、一般向けに「各種引火点試験器と測定値の違い」と化学品製造会社向けには前年と同じ「過酸化水素を酸化剤とした合成反応工程における気相部の着火・爆発現象」、「爆発性スクリーニングとしての落つい感度試験と弾動臼砲との対比」と「排ガス燃焼処理系の逆火・爆発現象」を加えた講座内容にいたしました。より多方面からの参加をお待ちしております。実験講座参加者には講座内容を記録・編集したCD(VTRを含む)を後日お届け致します。

- 主 催 特定非営利活動法人 安全工学会
- 開催日時 2016年6月2日(木)11:00 集合 上越線(渋川駅)
3日(金)16:30 解散予定 (渋川又は高崎駅) 2日間(1泊2日)
- 会 場 日本カーリット(株)危険物評価試験所 群馬県渋川市赤城町北赤城山 13-9
- 集合場所 JR上越線・渋川駅改札口(改札は1ヵ所だけです)
- 募集人員 20名(実験都合上、人数に制限がございます)
- 参加費 会 員 46,000円+消費税
非会員 51,000円+消費税
(料金には宿泊費(ホテル)、食費、渋川駅～試験所交通費を含む)
宿泊は4～6人同室になります。個室をご希望される場合は、5,000円+消費税増しです。
部屋数には限りがありますので先着順となります。(女性は個室になる場合がございます)
- *申込締切日 2016年5月18日(水)
締切日以降のキャンセルは、お受けできません。
参加費をお支払いいただきますので、ご了承願います。
- *申込方法 安全工学会ホームページの、行事、安全工学会開催行事から、お申込できます。
下記、参加申込書に必要事項を記入しFAXまたは郵送でもお申込みができます。
定員になり次第締めきりますので早めに申し込みください。
締切終了後、参加券、会場案内図、請求書、振替用紙等をお送りいたします。
※参加券は当日必ずご持参下さい。
当実験講座では傷害保険に入っております。申請時に、ご自宅住所・生年月日が必要となりますので申込書にご記入をお願い致します。(個人情報につきましては保険加入手続き以外には使用致しません)

*申込及び問合せ先：

安全工学会

〒103-0025

東京都中央区日本橋茅場町3-5-2 アロマビル6F

TEL:03-6206-2840 FAX:03-6206-2848

E-mail:jsse-2004@nifty.com

ホームページ

URL:<http://www.jsse.or.jp/>

❖プログラム

6月2日(木) 第1日	
11:00	渋川駅集合
12:00～13:00	昼食、実験講座説明
13:00～14:00	(1) 爆発や発火・火災のデータ測定 イ. 有機溶媒の燃焼性評価として、引火点及び燃焼点 ロ. 物質の反応性評価として落つい感度、MK-III弾動白砲、圧力容器
14:10～15:30	(2) 事故のモデル試験ーヒドロキシルアミンの濃縮による分解爆発
15:45～16:45	宿舎へ移動
17:00～19:00	(3) 座学 2講座 講 師 日本カーリット株式会社 課長 鈴木康弘氏 有限会社PHAコンサルティング 代表取締役 飯塚義明氏 講座1. 消防法危険物確認試験、国連勧告による試験 他 講座2. 作業前のセーフティアセスメントとして、問題点と改善策について、ディスカッションし、翌日検証試験を見学します。
19:10	食事及び懇親会
6月3日(金) 第2日	
9:15～10:45	(4) SA検証実験 1 過酸化水素を酸化剤とした合成反応における反応器気相部から排ガス系に至る設備において着火・爆発災害を起こす最悪シナリオ(作業ミス、設備不良)とは？ ◇ケース1 酸化反応器の気相部の純酸素中の溶媒(酢酸エチル)温度の変化と着火・爆発危険性 ◇ケース2 燃焼方式の排ガス処理系の配管の逆火対策
11:00～12:30	(5) 混触試験 イ. 過酸化水素と塩化銅との混触危険。⇒危険性評価の盲点を検証 ロ. 消防法1類酸化性固体と第4類有機溶媒との混触発火危険 ⇒地震発生時における安全対策(保管庫の混載防止)の重要性を検証
12:35～13:00	食 事
13:00～14:30	(6) SA検証実験 2 ありそうな事故として、合成反応操作時の異常シナリオ(誤操作、設備異常)に沿ったモデル試験、最悪シナリオとは？
14:45～15:40	質疑応答
16:30	渋川駅(又は高崎駅)解散